

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第127回

(2019年10～12月期)

令和2年2月

桐生商工会議所

桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
2. 調査時点 2019年12月1日
3. 調査期間 2019年10～12月期
4. 調査対象企業数 381企業（うち回答企業数126企業）

5. 調査対象業種

①建設業（回答企業数16企業）

建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

②商業・サービス業（回答企業数61企業）

卸売業、小売業、飲食業、サービス業

③製造業

機械金属関連業（回答企業数27企業）

鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数22企業）

撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。

このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。

DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-42**。前期（-35）比は-7ポイントとなった。また前年同期（-28）比では-14ポイントとなった。

業種別では、**建設業-50**（前期比-14、前年同期比-43）、**商業・サービス業-41**（前期比+4、前年同期比±0）、**機械金属製造業-33**（前期比-29、前年同期比-29）、**繊維製造業-50**（前期比-2、前年同期比-17）となっている。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-39**。前期（-33）比は-6ポイント、前年同期（-32）では-7ポイントとなった。

業種別では、**建設業-56**（前期比-13、前年同期比-56）、**商業・サービス業-33**（前期比+5、前年同期比+12）、**機械金属製造業-33**（前期比-25、前年同期比-25）、**繊維製造業-50**（前期比-9、前年同期比-8）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-44**。前期（-38）比では-6ポイント、前年同期（-32）比では-12ポイントとなった。

業種別では**建設業-50ポイント**（前期比+5、前年同期比-33）、**商業・サービス業-43ポイント**（前期比+2、前年同期比+2）、**機械金属製造業-40ポイント**（前期比-15、前年同期比-35）、**繊維製造業-50ポイント**（前期比-15、前年同期比-17）となっている。

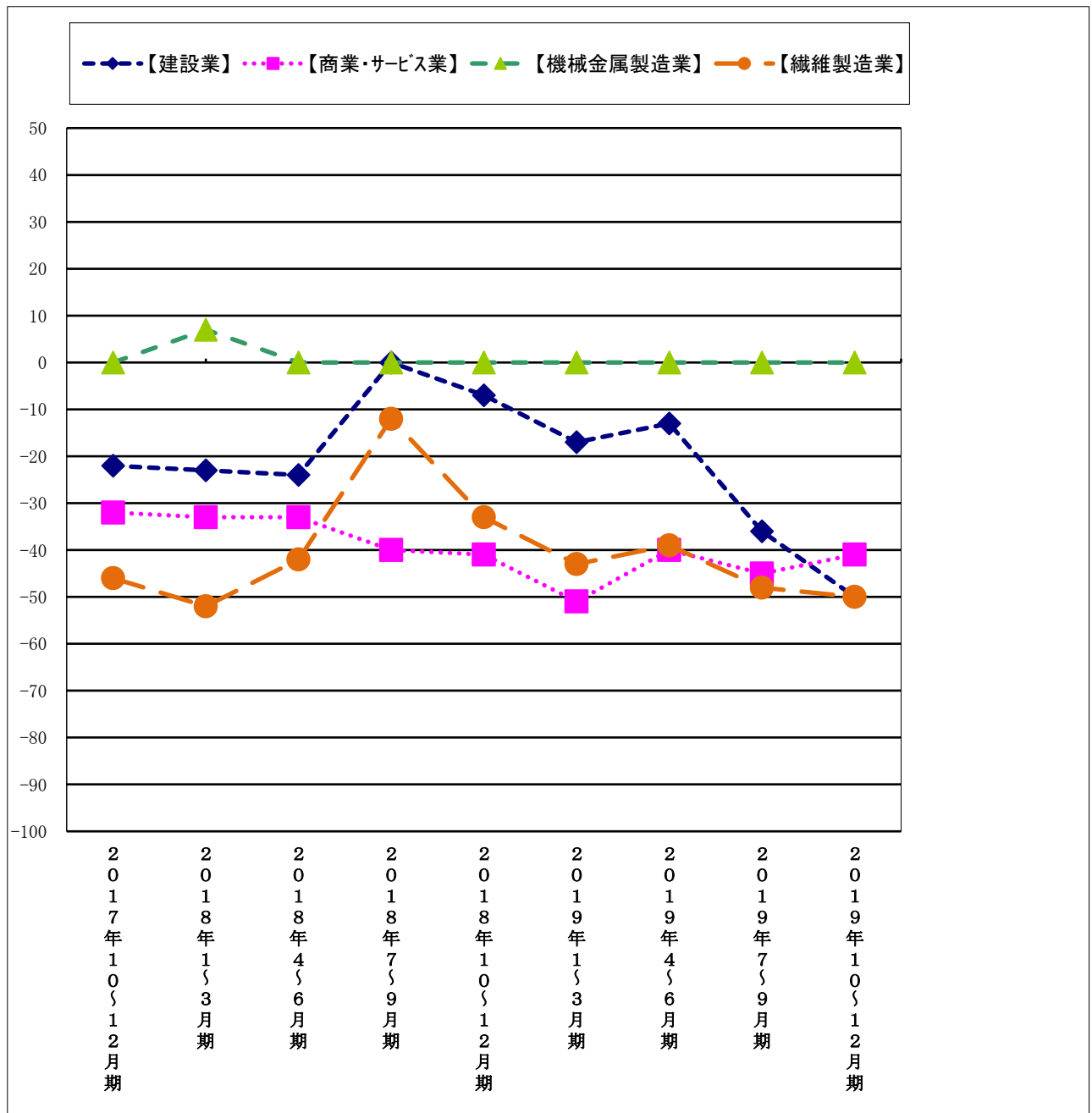
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「熟練技術者の確保難」（14.0%）、「従業員の確保難」（14.0%）、**商業・サービス業**では「需要の停滞」（15.0%）「消費者ニーズの変化への対応」（12.2%）、**機械金属製造業**では「需要の停滞」（21.1%）「製品単価の低下・上昇難」（14.1%）、**繊維製造業**では「需要の停滞」（19.0%）「製品単価の低下・上昇難」（15.5%）が上位となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2017年10～12月期	-22	-32	±0	-46
2018年1～3月期	-23	-33	7	-52
2018年4～6月期	-24	-33	-7	-42
2018年7～9月期	0	-40	-4	-12
2018年10～12月期	-7	-41	-9	-33
2019年1～3月期	-17	-51	-19	-43
2019年4～6月期	-13	-40	-33	-39
2019年7～9月期	-36	-45	-4	-48
2019年10～12月期	-50	-41	-33	-50

[2017年10～12月期] から [2019年10～12月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-50**。前期比は-14、前年同期比では-43ポイントとなった。
業種別では**建築・大工業 [-20]、土木業 [-67]、管工事業[±0]、鉄骨・鉄筋業 [±0]、電気工事業[-80]、その他 [-100]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-50**。前期比+5、前年同期比では-33ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-41**。前期比は+4、前年同期比では±0ポイントとなった。
業種別では、**卸売業 [-40]、小売業 [-59]、飲食業 [-13]、サービス業では [-24]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-43**。前期比+2、前年同期比では+2ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-33**。前期比では-29、前年同期比では-29ポイントとなった。
業種別では、**鉄鋼業 [±0]、非鉄金属業 [-100]、金属製品業 [-50]、一般機械器具業 [±0]、電気機械器具業 [±0]、輸送用機械器具業 [-33]、精密機械器具業 [±0]、プラスチック製造業 [-75]、その他 [±0]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-40**。前期比-26、前年同期比-35ポイントとなっている。

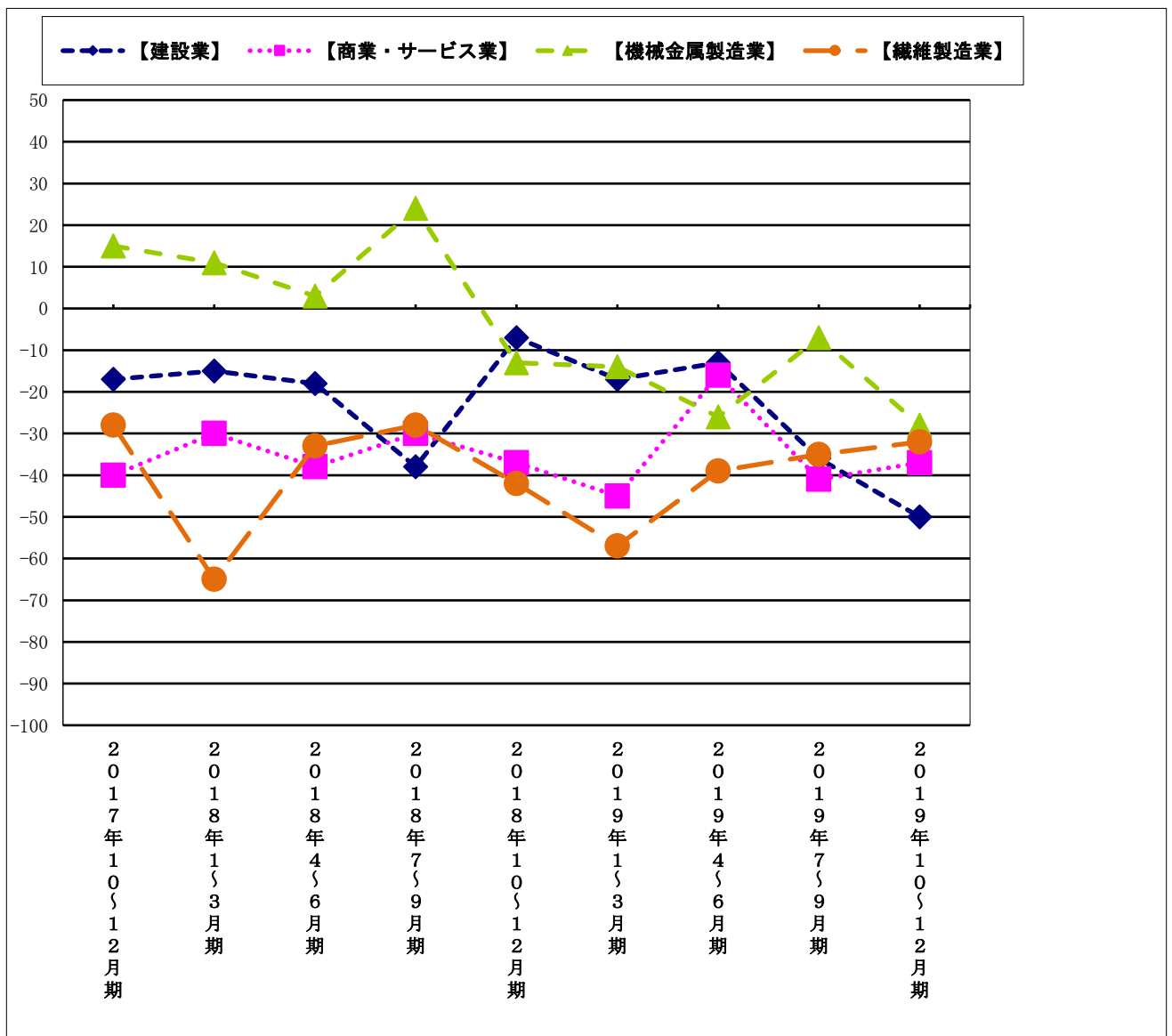
【繊維製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-50**。前期比では-2、前年同期比では-17ポイントとなった。
業種別では、**織物業 [-40]、染色整理業 [-25]、ニット・メリヤス業 [-50]、レース業 [±0]、縫製業 [-100]、刺繍業 [-67]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-50**。前期比-15、前年同期比では-17ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

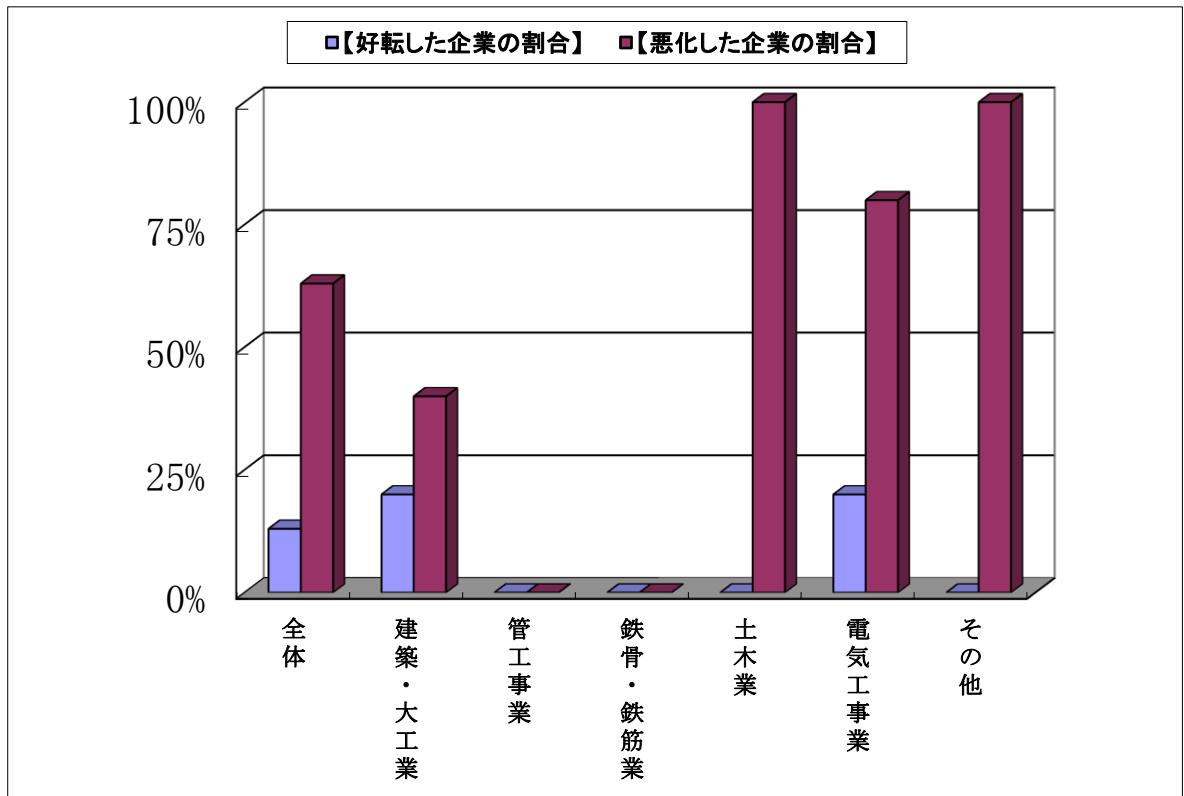
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2017年10～12月期	-17	-40	15	-28
2018年1～3月期	-15	-30	11	-65
2018年4～6月期	-18	-38	3	-33
2018年7～9月期	-38	-30	24	-28
2018年10～12月期	-7	-37	-13	-42
2019年1～3月期	-17	-45	-14	-57
2019年4～6月期	-13	-16	-26	-39
2019年7～9月期	-36	-41	-7	-35
2019年10～12月期	-50	-37	-28	-32

[2017年10～12月期] から [2019年10～12月期]

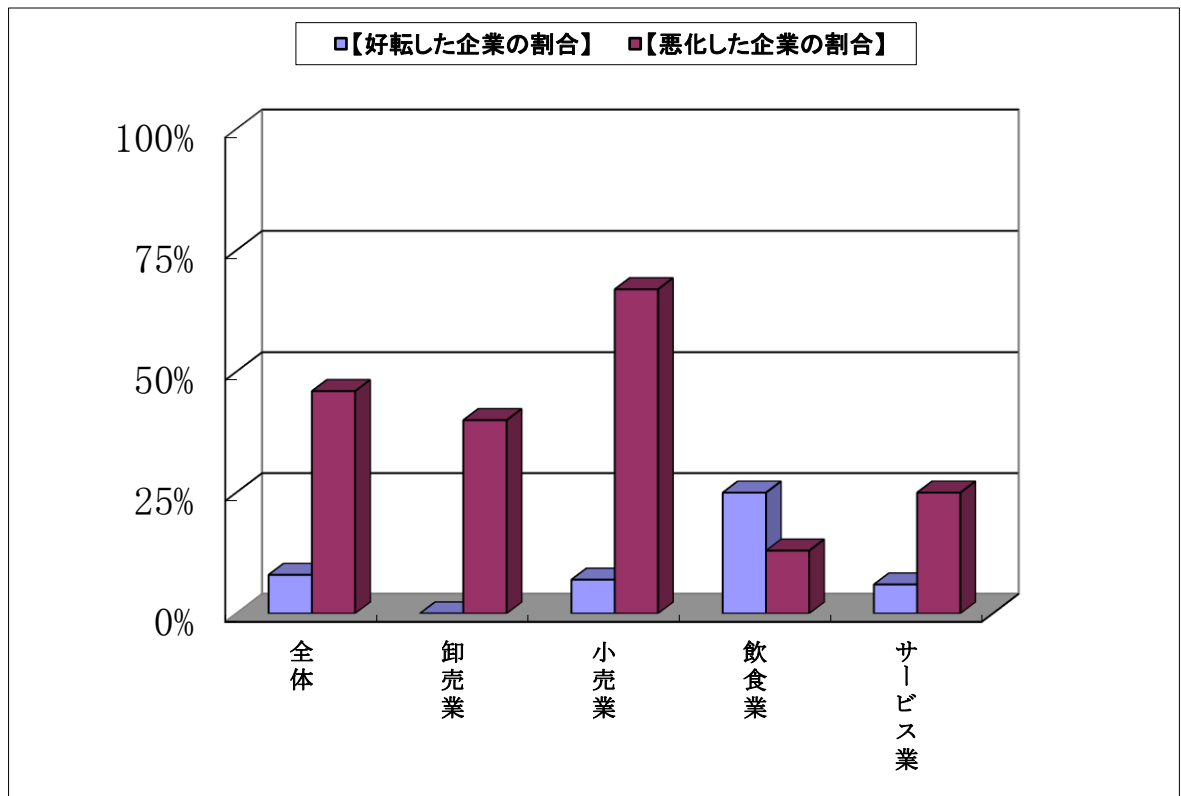


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

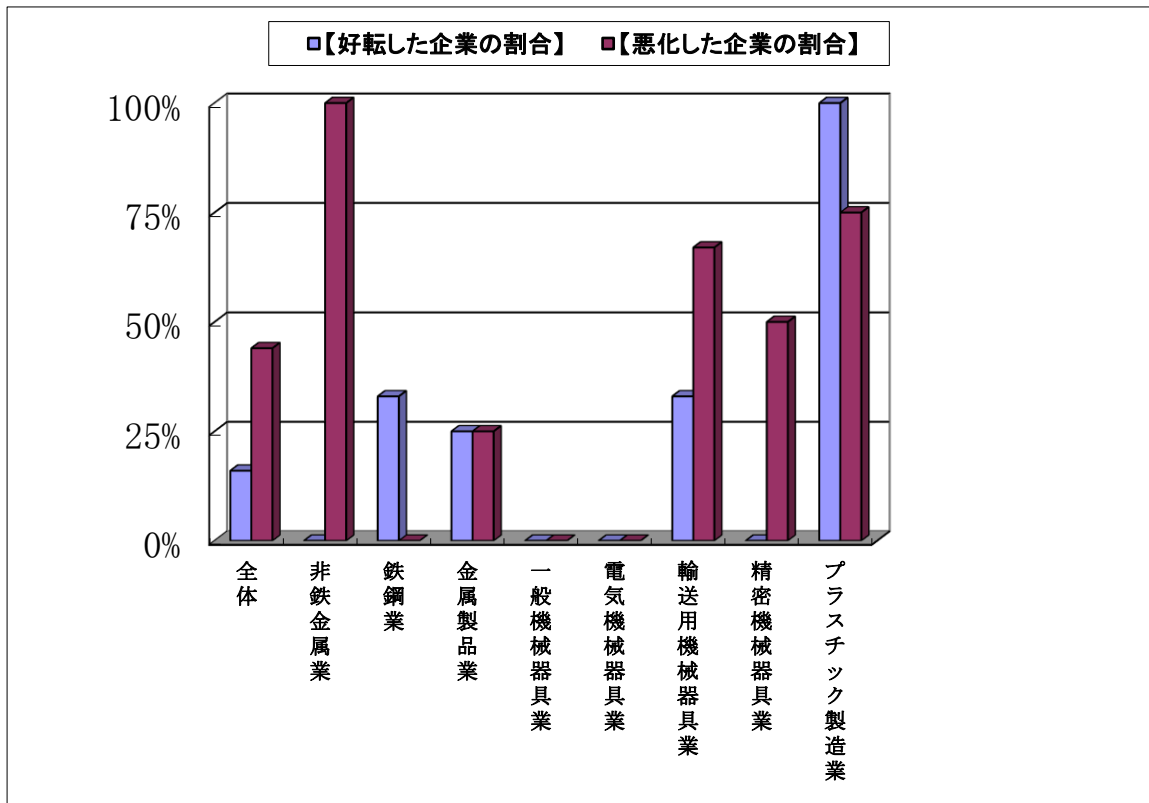
【建設業】



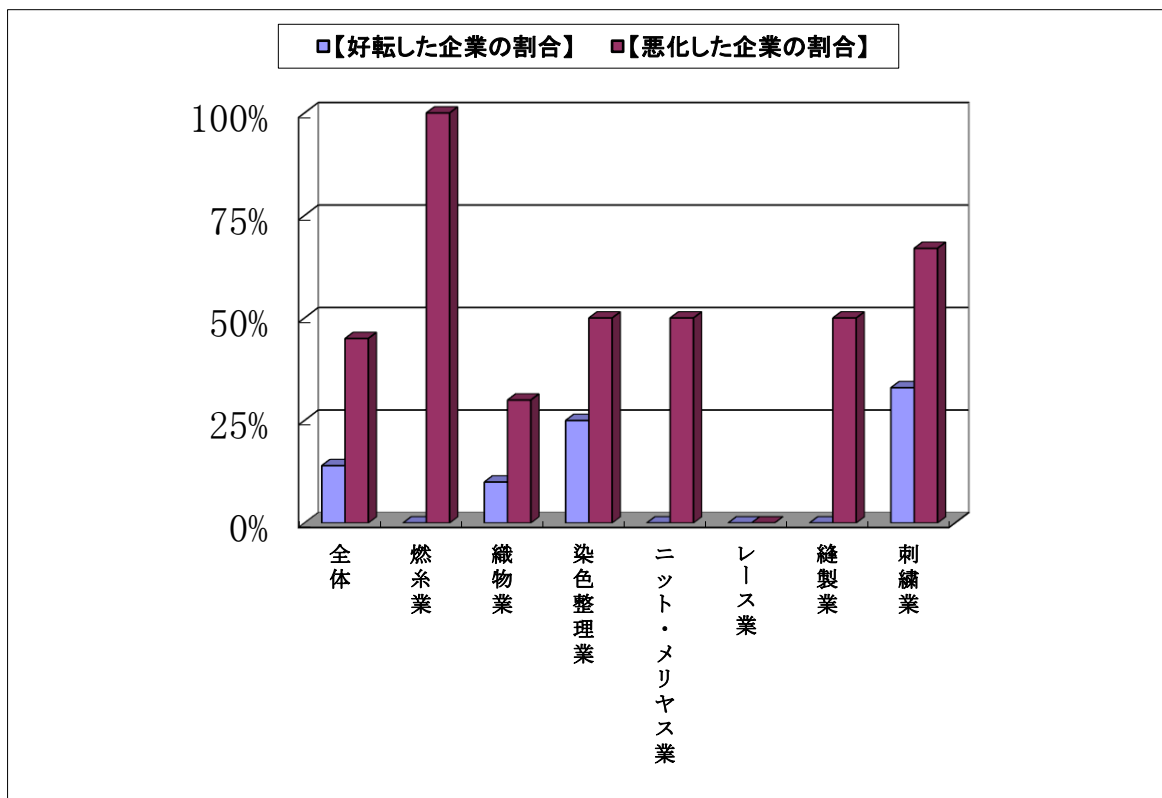
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



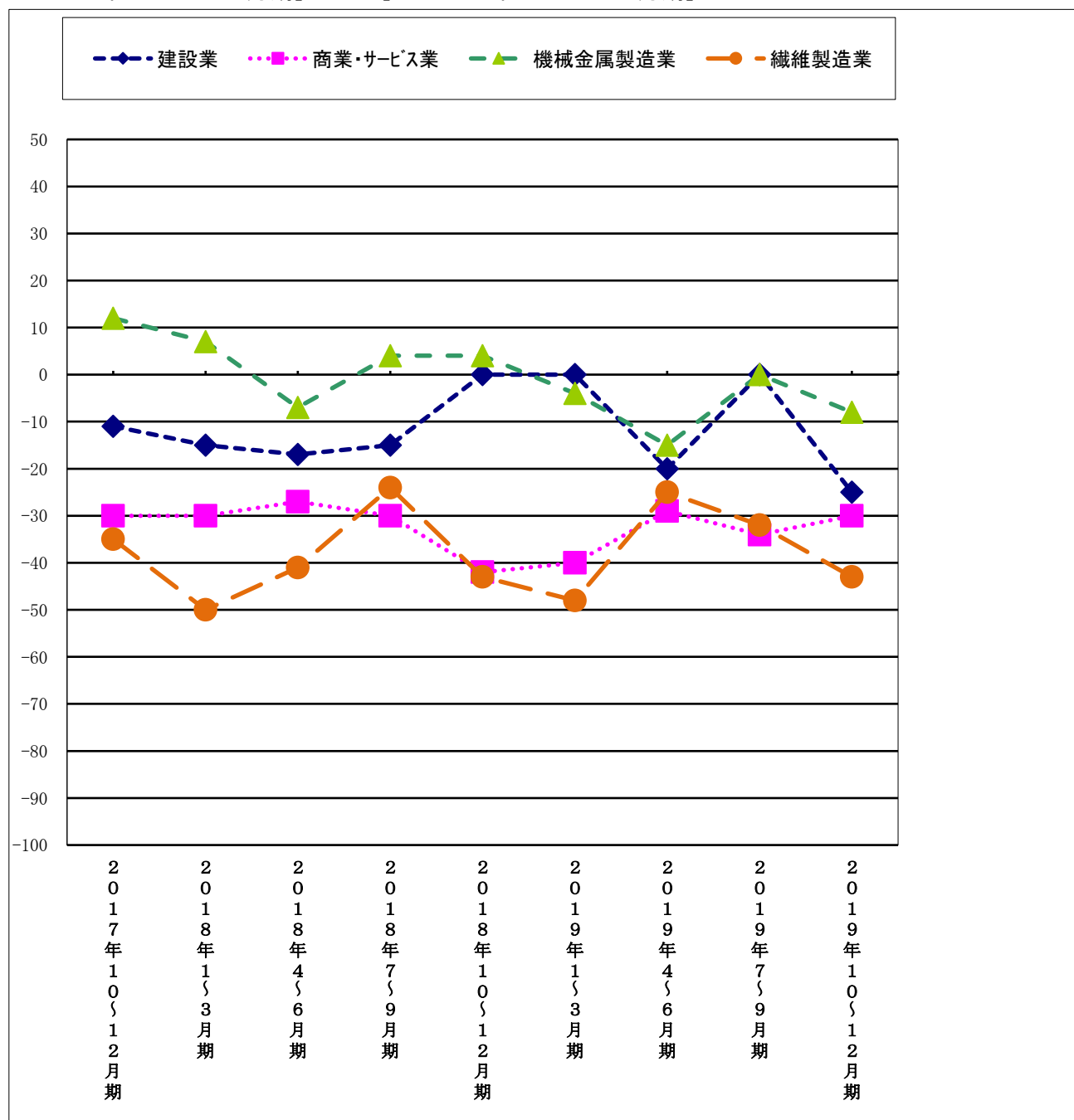
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2017年10～12月期	-11	-30	12	-35
2018年1～3月期	-15	-30	7	-50
2018年4～6月期	-17	-27	-7	-41
2018年7～9月期	-15	-30	4	-24
2018年10～12月期	0	-42	4	-43
2019年1～3月期	0	-40	-4	-48
2019年4～6月期	-20	-29	-15	-25
2019年7～9月期	0	-34	0	-32
2019年10～12月期	-25	-30	-8	-43

[2017年10～12月期] から [2019年10～12月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	請負単価の低下・ 上昇難 14.0	従業員の確保難 14.0	熟練技術者の 確保難 14.0	民間需要の停滞 11.6	材料価格の上昇 9.3
前期	3位 11.1	1位 13.9	4位 8.3	1位 13.9	7位 5.6
前年同期	6位 5.0	2位 12.5	1位 17.5	4位 10.0	4位 10.0
商業・サービス業	需要の停滞 15.0	消費者ニーズの 変化への対応 12.2	購買力の他地域 への流出 11.6	大企業進出での 競争激化 7.5	従業員の確保難 6.8
前期	1位 17.9	2位 15.2	3位 9.0	10位 3.4	4位 8.3
前年同期	1位 19.7	2位 15.9	3位 9.6	6位 5.7	5位 6.4
機械金属製造業	需要の停滞 21.1	製品単価の低下 ・上昇難 14.1	人件費の増加 14.1	生産設備の不足 ・老朽化 11.3	熟練技術者の 確保難 11.3
前期	2位 12.7	1位 15.2	2位 12.7	2位 12.7	6位 8.9
前年同期	4位 11.0	2位 13.7	8位 8.2	4位 11.0	4位 11.0
繊維工業製造業	需要の停滞 19.0	製品単価の低下 ・上昇難 15.5	製品ニーズの 変化への対応 13.8	原材料価格の上昇 11.7	製品ニーズの 変化への対応 11.7
前期	1位 16.7	3位 13.9	3位 11.7	2位 16.7	3位 11.7
前年同期	4位 11.3	5位 9.9	5位 9.8	4位 11.5	5位 9.8

今期の従業員数D I

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2017年10月～12月期	-6	-3	8	-8
2018年1月～3月期	0	-19	7	-10
2018年4月～6月期	-6	0	10	-24
2018年7月～9月期	8	-20	22	0
2018年10月～12月期	14	-19	22	-5
2019年1月～3月期	6	-17	4	-10
2019年4月～6月期	20	-18	12	-5
2019年7月～9月期	7	-13	12	-5
2019年10月～12月期	0	-19	0	0

事業所からのコメント（直面している問題点など）

【建設業】

- ・人の確保は一時的に解消
- ・民間需要の停滞
- ・民間工事の建築直下の下請けは採算面が悪く請け負えるような状況下にならない。
- ・新規従業員の確保難

【商業・サービス業】

- ・桐生市及び近郊の人口減の中にあって競合が多く、また業界が地味傾向。売上確保に苦慮
- ・寿司商組合はここ10年で組合数が半分
- ・事業者の高齢化
- ・消費増税により売り上げ低迷
- ・クレジット売上は伸びているが、全体の売上は減少し資金繰り悪化。
- ・仕入れ単価上昇により粗利減少
- ・大企業や新規参入がここ数年増加
- ・仕入先倒産による良品が仕入難
- ・学生人員減少
- ・客数減少による廃業の検討

【繊維工業】

- ・運賃の高騰